

事業所名	グループホーム 福寿万記の里
日付	平成20年3月26日
評価機関名	特定非営利活動法人 高齢者・障害者生活支援センター
評価調査員	介護支援専門員・介護福祉士・認知症ケア専門士 介護支援専門員・介護福祉士
自主評価結果を見る	<a href="#">自主評価結果を見る</a>
評価項目の内容を見る	<a href="#">評価項目の内容を見る</a>
事業者のコメントを見る (改善状況のコメントがあります!)	<a href="#">事業者のコメントを見る (改善状況のコメントがあります!)</a> ※

## 1. 評価結果の概要

<p><b>講評</b></p> <p>全体を通して（特に良いと思われる点など）</p> <p>岡山市から少し郊外の田園地帯で日照や見通しがよく立地条件のよい環境にあり、広い菜園・花壇が自然に親しむことのできる環境にある。</p> <p>3階建ての建物と地域への交流目的でカルチャールームを併設している。3階建ての3ユニットで、エレベーターが設置され外出に支障もなく、気軽にユニット間の交流やイベントに参加できる環境にある。</p> <p>各々のユニットの特色を持ち、各階の管理者とスタッフの協力の下で、目配り気配り思いやりの介護が行われている。</p> <p>一人ひとりの暮らしの尊重を基本に、できることを継続できるよう日常生活の中での自立支援がなされている。各ユニット間の連携が蜜にできており、日常の出来事や緊急時等の申し送りが確実にできている。</p> <p>日常的医療も迅速な対応ができ、家族とスタッフ間の連携もよく、数人の看取りがなされている。いつも入居者の心の安定を図り、家族・介護職員の信頼関係により、みんな穏かに暮らせるグループホームを目指している。</p> <p>特に改善の余地があると思われる点</p>
---

## 2. 評価結果（詳細）

### I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
記述項目	<p>グループホームとしてめざしているものは何か</p> <p>・入居者個々の自立支援に向けて、笑顔がたえないケアを目指している。</p> <p>・各ユニットで年間・月の目標を立て入居者と共に全スタッフが尊厳ある生活ができるよう努力している。・各々のユニットごとの連携を図るために定期的に主任会議を開催。連携をとれる体制を目指している。自立支援を目指し明るく、楽しく、和やかな行事や散歩を取りいれ自立支援に取り組んでいる。・いつも入居者の心の安定を図るため主治医や家族等との協力により健康管理や感染予防に取り組んでいる。</p>		

### II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目	<p>入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か</p> <p>家庭生活の延長と考え、個々の自由を束縛せず、自由に過ごせることと安全第一の見守り・自立支援を行っている。共有の空間では、落ち着ける雰囲気を作り、混雑されている方にはさりげなく別の場所に誘い個別に開くようにしている。</p> <p>共有の空間では、落ち着ける雰囲気を作り、混雑されている方にはさりげなく別の場所に誘い個別に開くようにしている。馴染みの家具を利用できる環境を作り、落ち着くことのできるように工夫している。</p> <p>居室には馴染みの家具を持ち込むことができ落ち着くことのできるような場づくりに取り組んでいる。</p> <p>1 F 生活空間は馴染みの入居者同士、自然に会話できる落ち着いた生活支援を目指している。</p> <p>2 F テレビの前にはゆったりとしたソファが置かれ、ゆとりのある生活空間や場所造りをしている。</p> <p>3 F 夫婦の会話ができる環境、家庭的で看取りができる家庭との連携ができている。</p>		

### III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人のできることに配慮	○	
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	

### III ケアサービス（つづき）

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にされた整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
記述項目	<p>一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か</p> <p>・家族との連携を蜜に行い、より多くの情報から職員間が統一したケアが行えると同時に個人の尊厳を守るよう配慮している。</p> <p>・一人ひとりの性格や、力量にあわせ残存能力の活用を支援している。</p> <p>・個々の生活暦、職歴また、「できること、してほしくないこと」を把握し、本人の意見を尊重しながら身体機能の低下を防止できるように、日常生活の中で見守りや声かけの支援が行われている。</p>		

### IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	災害対策	○	
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
34	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
35	運営推進会議を活かした取組	○	
36	地域との連携と交流促進	○	
37	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目	<p>サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。</p> <p>・サービスの質の向上に向けて、研修には積極的に参加し、定期的会議やミーティングにおいて研修報告を行うことによりお互いに認知症の理解や関わり方についてホーム全体でのレベルアップに力を入れている。</p> <p>・講師を招いて研修会を行い資質や技術の向上に努めている。</p> <p>・地域推進会議も定期的に行われ、意見の反映や自分が入りたいホーム作りに努力されている。</p>		